

# シルクロードSC-N、準優勝

## 全国少年少女草サッカー



神奈川チームと熱戦を繰り広げるシルクロードSC-N=20日、静岡市清水区、関口達朗撮影

た石丸龍之輔選手（6年）は「最後は全員で決めたいと思っていました。追加点を取れてうれしい」と話した。敗れた江東Aは大会のフェアプレー賞に選ばれた。

静岡市で開かれていた小学生サッカーの祭典、第37回全国少年少女草サッカー大会（朝日新聞社など主催、第二共ヘルスケア協賛）は、男子の部の最終日の20日、シルクロードSC-N（八王子市）が決勝で神奈川のチームと対戦。0-4で敗れ、準優勝した。

決勝の前半は0-2で折り返し。後半、何度か相手ゴールを脅かしたが堅い守備に阻まれ、逆に追加点を奪われた。

キャプテンの鈴木励音選手（6年）は「いつも通り

自分たちの試合ができた。ここまで来られて満足だが、悔しい気持ちもあるのが、次は優勝を目指したい」と話した。高梨大介監督は「子どもたちは大会を通じて本当にがんばってくれて、成長を感じた。保護者や関係者の協力でここまでこられた」と話した。

3位決定戦は東京勢同士の対決となった。バディサッカークラブA（世田谷区）が、バディサッカークラブ江東A（江東区）に2-0で勝利し、3位になった。2点目のゴールを決め